

貯玉会員への入会手続きと貯玉会員情報の管理

ファンが貯玉/メダル・再プレーシステムを利用するためには、遊技するホールで貯玉会員に入会しなければなりません。そして、貯玉会員入会申込書に記入された「氏名」「住所」等は個人情報であるため厳重に管理しなければなりません。

今回は、貯玉会員への入会手続きと、貯玉会員情報の管理についてご紹介します。

入会の手順・会員規約

ファンが貯玉会員に入会する際には、入会するホールで「会員規約」を確認していただきます。

会員規約の一般的な内容は「入会資格」「カードの譲渡・貸与の禁止」「会員へのサービス(貯玉/メダル・再プレーのサービス規定、カタログ賞品交換について等)」等が明記してあります。

会員規約に同意いただけたら、会員申込書に必要事項を記入していただき、「自動車運転免許証」「パスポート」「保険証」等の身分証明書を基に本人確認を行います。本人確認することで「18歳未満の未成年者の入会防止」を図っています。入会者本人自らパスワードの登録を頂くことも必須で、登録されたパスワードは「再プレーする時」「賞品交換する時」等に本人を特定し、認証するために使われます。

貯玉会員の利益が保護される「安心貯玉優良店(第三者貯玉保証管理制度)」は「安心貯玉.com」「貯玉補償基金」の HP で周知しています。
J-NET ファン向け HP(安心貯玉優良店一覧ページ)
<https://www.anshinchodama.com/map/index.html>



貯玉会員情報の管理

貯玉会員入会時、会員申込書に記入していただいた①氏名②住所③電話番号④生年月日/年齢⑤性別⑥メールアドレス等とシステム利用時各データ(貯玉/メダル数値、再プレー記録、賞品交換記録等)はホールの会員管理コンピュータで管理されています。合わせて、不測の事態によりデータが消失してしまう場合に備え、J-NET センタ(貯玉第三者管理)では同データを常時バックアップして厳重に管理しています。



この会員情報は、貯玉/メダルの補償の際に本人への連絡、確認をするための大切な情報です。J-NET センタ(貯玉第三者管理)におけるデータ管理は貯玉会員の財産を確実に担保するために必要不可欠です。

貯玉／メダル・再プレーシステムの運営に必要な各機器とシステム構成図

貯玉会員カード

貯玉会員に入会すると会員カードが発行されます。ホールは運転免許証、保険証などで本人確認を行い入会を受付けます。会員カードは本人確認のためのパスワードの設定が必須で、設定したパスワードは、「貯玉での賞品交換」「再プレー」などの時にも必要となります。

玉／メダル計数機

出玉／メダルを数える機器で、カウントされた数量が表示されます。貯玉会員は、会員カードを挿入し、本人確認の後に玉／メダルを貯めることができます。現在は、各遊技台に設置でき、貯玉・計数・貯玉引き出しが可能な「各台計数機」の導入が進んでいます。

再プレー返却機

貯玉会員が貯玉を利用して再プレーをする場合、再プレー返却機より玉／メダルを引き出し

て遊技します。最近の高いセキュリティ機能を搭載した台間に設置する「IC カード対応タイプ」が主流となっています。

その他に通常の「台間タイプ」と島周りに設置する「島端タイプ」等があります。

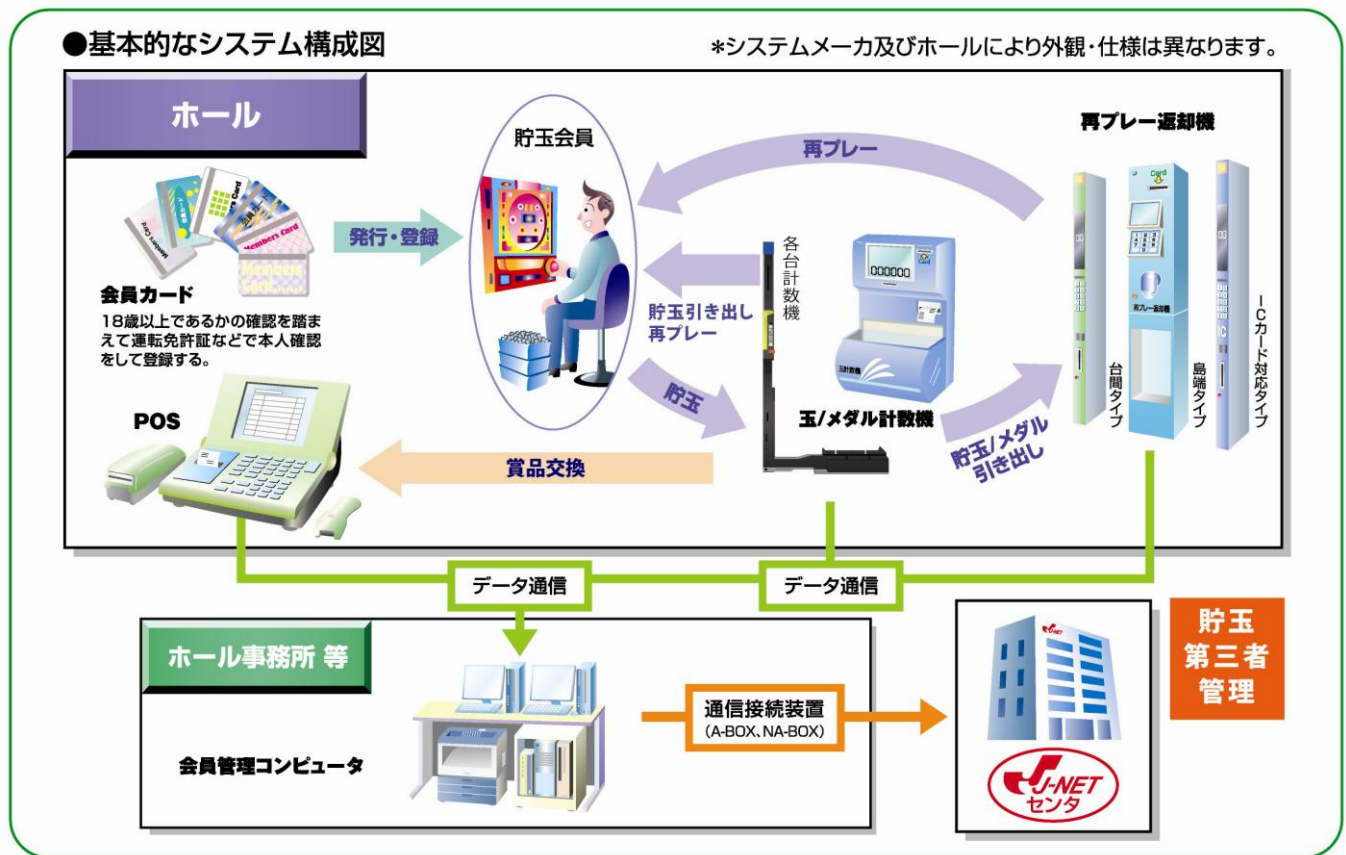
POS(ポス)

賞品との交換や管理を行うコンピュータ端末です。玉／メダル計数機、再プレー返却機、POS には、カードリーダーが組み込まれ、リンクするタイプが多く、本人確認を行うテンキーパッドがついています。

会員管理コンピュータ

貯玉会員の属性情報や来店時の貯玉、再プレー履歴、賞品交換履歴などを管理するコンピュータです。

この会員管理コンピュータから中継装置を経由し、各データが J-NET センタ(貯玉第三者管理)へ送られてきます。



ジャパンネットワークシステム株式会社
(略称: J-NET)

<http://www.j-net-sys.co.jp/>

TEL 03-5818-7743(代表)

編集担当/佐々木・江崎